



空宙博 岐阜かがみがはら
航空宇宙博物館
GIFU-KAKAMIGAHARA AIR AND SPACE MUSEUM



各務原市政記者クラブ同時配布資料
岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和6年8月9日（金）岐阜県発表資料		
担当課・係	担当者	電話番号
岐阜かがみがはら航空宇宙博物館指定管理者 （公財）岐阜かがみがはら航空宇宙博物館 学芸課	石原	直通 058-386-8500 FAX 058-386-9912
各務原市 観光交流課 観光振興係	野田 河瀬	直通 058-383-9926 FAX 058-389-0765
航空宇宙産業課 企画連携係	伊藤 樋口	内線 3765 直通 058-272-8837 FAX 058-278-2653

各務原市で初飛行を行った 「一式陸上攻撃機」のプロペラを展示します

岐阜かがみがはら航空宇宙博物館（愛称「空宙博」）では、令和6年8月10日（土）から、戦前の代表的な国産機「一式陸上攻撃機」用プロペラの常設展示を開始します。

同機は、現存する機体・部品が極めて少なく、今回展示するプロペラは当時の製造技術や材質、構造等を知る貴重な資料となりますので、この機会に空宙博へぜひお越しください。

<展示品（プロペラ）概要>

- ^{はねすう}翅数（プロペラの枚数）：4枚
- 材 質：金属（アルミニウム合金）
- 全 長：3.4m
- 前後幅：0.5m
- 展示場所：空宙博1階 A2ゾーン



※ 今回展示するプロペラは、1979年、東京湾（千葉県船橋沖）で漁網に偶然引っかかり発見されました。海から引き上げられた後、それを譲り受けた大戦機資料収集家が自宅（千葉県八千代市）で保管していたもので、昨年、各務原市に寄贈されました。

<参考：一式陸上攻撃機について>

三菱重工業が設計・製造した国産機で、初号機は1939年10月23日に各務原飛行場（現 航空自衛隊岐阜基地）で初飛行した。旧海軍を代表する機体で、山本五十六連合艦隊司令長官が戦死した際の乗機としても知られる。

- 全 長：20.0m、19.6m、19.5m（型式による）
- 全 幅：24.9m
- 全 高：4.5m、6.0m（型式による）
- 製 造 者：三菱重工業
- エンジン：火星（三菱重工業製）

